

ゆぎょうじ 遊行寺だより

ホームページでも
配信しています



秋とはいえ、まだまだ暑い日が続いています。今月は伝統ある「薄念仏会」、一遍上人をお偲びする「秋季開山忌」がございます。開山忌では法要と並んで奉納芸能も予定しております。皆様お誘い合わせの上、ぜひご参詣ください。

【総本山執事長 任期継続のお知らせ】

先月行われた「時宗宗務総長選挙」の結果を受けまして、総本山執事長 桑原弘善の再任（任期4年）が決定いたしました。（時宗機関紙『遊行』201号に挨拶文が掲載されます）
また、今月末をもちまして近侍司の林陽善が退職いたしますので、あわせてご報告申し上げます。

林より皆様へ

平成26年4月から3年半の間、檀信徒の皆様には大変お世話になりました。思い返すと寂しい気持ちになりますが、また皆さまとお会いする時には成長した姿をお見せできるよう今後も仏道修行に励んでまいります。今まで本当に有難うございました。合掌



◆ 今月の行事予定

- 写経会**【3日（日）午後1時】
しゃきょうえ
 詳細はホームページ、もしくは写経会のご案内をご覧ください。受付は12時半からです。
 終了時間は自由で、どなたでもご参加いただけます。
- 薄念仏会**【15日（金）午後1時30分】
すすきねんぶつえ
 「薄念仏」は踊り念仏の一つであり、一遍上人の時代より続いています。
- 秋季開山忌**【21日（木）～24日（日）】
しゅうきかいさんき
 宗祖一遍上人の忌日法要です。
 期間中、各家先祖供養を受付いたします。
 また奉納芸能として「講談」「落語会」を催します。
- 月例法話会**【23日（土）大施餓鬼法要後】
げつれいほうわかい
 今月は本堂にて行います。ご参加は自由です。
 当月講師：時宗宗学林学頭
 滋賀県大津市 長安寺 長澤昌幸師

◆ 今月の催事予定

- 骨董市**【3、17日（日）】
のみのち
 毎月第1日曜日…蚤の市
 〈問合せ：090-4416-2168（石田様）〉
 毎月第3日曜日…ボロ市
 〈問合せ：090-2660-6935（中島様）〉
 * 午前7時より午後4時まで（雨天中止）
- 寺ヨガ**【10日（日）】
 毎月第2日曜日 於：大書院
 9時～ / 11時～ / 2時～（各1時間）
 〈問合せ：090-4365-5034（ナーニヤ先生）〉
- 野菜市**【6、13、20、27日（水）】
 毎週水曜日 午前中出店・雨天中止

【薄念仏会とは】

『一遍聖絵』第五巻に一遍上人一行が一遍上人の祖父河野通信の墓を囲んで座している姿があり、塚の上部には薄と思われる草が2、3株ほど描かれています。この時墓を回って読経したとの記述があり、この一連の法要が薄念仏の始まりとも言われます。

特徴として、本堂内陣の前机の前に置いた大花瓶に、薄、松、青竹を生け、青竹の高い位置に遊行四十二代尊任上人の「笹名号（ささみょうごう）」をかけ、内陣と外陣の境目に18個の白張提灯を吊るします。そして、この提灯をもらい田畑に吊るしておくとい虫がつかないという逸話も残っています。



ひがん 彼岸への道

9月になるとやはりお彼岸が思い浮かびます。

「彼岸」は日本古来の習慣で、春分、秋分の日を中日として前後3日間、計1週間の期間をさします。中日は太陽が真西に沈むことから、阿弥陀仏のおられる西方極楽浄土を想像するのにふさわしい日でもあります。

ただしもともと「到彼岸」=“智慧の完成”という言葉があるように、「彼岸」は煩惱が尽きない状態(此岸)から煩惱が滅された状態(彼岸)へ至るための修行期間という意味があります。

そして、その具体的な実践方法として「六波羅蜜」が挙げられます。「波羅蜜」とは先ほどの「到彼岸」と同じ意味です。

【六波羅蜜】

- ①布施…他者へ分け与えること。物質だけでなく笑顔や良い言葉づかいなどを他者へ施すことも言います。
- ②持戒…戒を保つこと、自主的に善行を心がけること。
- ③忍辱…あらゆる障害に対して耐え忍ぶこと。
- ④精進…目標に向かい努力すること。
- ⑤禅定…精神を集中し、心を安定させること。
- ⑥智慧…お釈迦様の教えを分析し、ものごとの真実を見極めること。

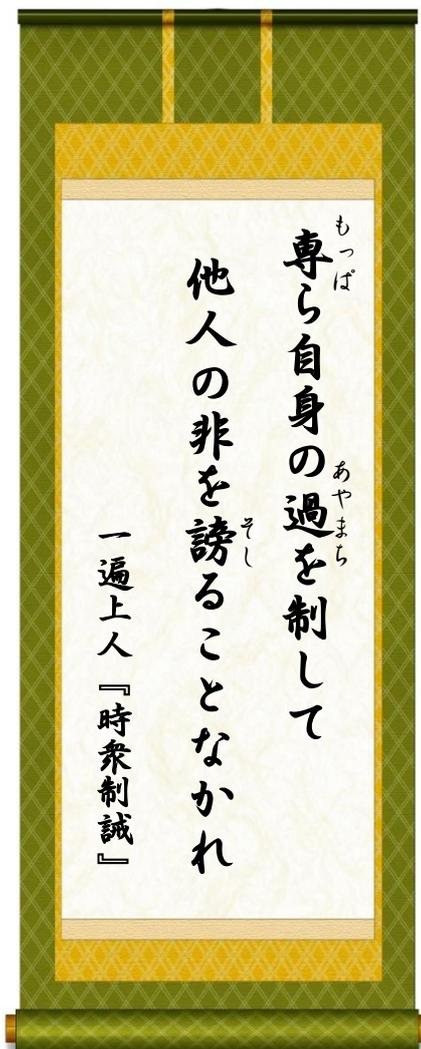
①～⑤は智慧波羅蜜へ到る手段です。

この6つの修行が悟りへの道の基礎となるものですが、どれも“言うは易し行うは難し”ではないでしょうか。特に3番目の「忍辱」は楽な暮らしになれた現代の私たちには耳が痛いものかもしれません。ですが、耐え忍ぶことは他人に対しても自分自身に対して福德をもたらします。耐えること、寛容であることは怒りの感情を生まず人を傷つけることはありません。また、いかなる苦境にも耐えることはその人を成長させやがて大輪を開かせます。ただし心の中にモヤモヤを残して我慢することが「忍辱」では決してありません。あくまでも自分のための修行として精進することが大事なのです。 合掌

(山務書記:高垣浩然)

宗祖の

今月のおことば



～一遍上人のおこころ～

つねに自分自身の言動を省みて、他人の欠点だけを非難してはならない。時には相手の非に寛容になることも必要である。

facebook

フェイスブックでも遊行寺の様子や情報を配信しています。最新記事をお読みいただけますので、ぜひ“いいね！”してください♪

時宗総本山
遊行寺

〒251-0001 神奈川県藤沢市西富1-8-1
TEL:0466(22)2063 FAX:0466(23)8243
ホームページ: <http://www.jishu.or.jp>

* 遊行寺宝物館

企画展『遊行上人の軌跡』

〔7月22日(日)～10月2日(月)〕
開館日:毎週月・土・日曜日・祝日
入館料:400円(小・中学生200円)